



平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月8日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 一六堂

コード番号 3366 URL <http://www.ichirokudo.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柚原 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 大木 貞宏

TEL 03-3510-6116

四半期報告書提出予定日 平成22年10月14日

配当支払開始予定日

平成22年11月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	4,211	1.0	111	△57.0	180	△41.9	44	△66.4
22年2月期第2四半期	4,169	—	258	—	310	—	134	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	527.37	474.40
22年2月期第2四半期	1,572.45	1,413.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	6,604	4,026	61.0	47,195.57
22年2月期	6,020	4,007	66.6	46,994.40

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 4,026百万円 22年2月期 4,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	500.00	—	500.00	1,000.00
23年2月期	—	525.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	525.00	1,050.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,252	7.5	542	△13.4	671	△6.6	298	△18.5	3,496.03

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ 2. その他の情報 をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期2Q 86,644株 22年2月期 86,620株
② 期末自己株式数 23年2月期2Q 1,337株 22年2月期 1,337株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期2Q 85,296株 22年2月期2Q 85,263株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく、四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期短信においては、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新興国向けの輸出産業に牽引される形で、一部でゆるやかな持ち直しの動きが見られたものの、折からの円高ドル安により輸出産業の好景気も顕在化には至らず、逆に雇用情勢の悪化や設備投資の減少等、厳しい状況が続いております。

外食業界におきましても、雇用や所得に対する不安から個人、法人ともに消費マインドは低迷しており、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、客単価5,000円前後の主力和食業態「天地旬鮮 八吉」を中心に、主として東京都内のビジネス街に店舗展開を進めており、同業他社とは一線を画した営業戦略で差別化を図っております。出店戦略につきましては、新規出店をあえて抑制した前連結会計期間から一転、豊富な資金力を背景に当連結会計期間においては積極的な出店を計画しております。当第2四半期連結累計期間におきましては、新規店舗が6店舗、既存店舗の業態変更等によるリニューアルオープンを9店舗実施し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、74店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,211,509千円（前年同期比1.0%増）となりました。当第2四半期連結累計期間にオープンした6店舗が順調に推移し、既存店舗のうち夏場に弱い鍋業態が苦しみましたが、主力業態の和食接待居酒屋は概ね好調に推移しました。

営業利益は111,020千円（前年同期比57.0%減）、経常利益は180,287千円（前年同期比41.9%減）、四半期純利益は44,982千円（前年同期比66.4%減）と前年同期比で減益となりました。出店を1店舗に抑制した前年同期にくらべ、設備投資に係る減価償却費や備品消耗品費と店舗契約時の仲介手数料等の初期費用がかさみ、販売費及び一般管理費が前年同期比5.0%増加しております。

今後も引き続き無理なく規模を拡大しながら、当社の特徴である漁港での鮮魚を直接買付けることのできる権利、すなわち買参権をさらに活かすべく、特に既存店を質的、人的両面ともにさらに充実したものにするために戦略的な営業、人員の採用を引き続き実施していく所存であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、6,604,679千円、負債の部は2,578,566千円、純資産の部は4,026,112千円となりました。この結果、自己資本比率は61.0%となっております。

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,823,184千円となり、前連結会計年度末と比較して130,614千円増加しております。主な要因は、取引銀行3行からの借入等により新規出店等による旺盛な設備投資もありましたが、現金及び預金が142,605千円増加したことによるものであります。なお、当第2四半期連結会計期間末の流動資産÷流動負債で表わされる流動比率は、財務健全性の指標である100%を大きく超過する130.6%となっております。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、4,781,495千円となり、前連結会計年度末と比較して453,470千円増加しております。主な要因は、当第2四半期連結累計期間に新規出店した合計6店舗の設備投資額等による増加が254,824千円、新規店舗の契約等による敷金及び保証金の増加が104,609千円に加えまして、平成22年8月に購入した社員寮の購入による土地の増加が163,239千円あったことによるものであります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、1,395,781千円となり、前連結会計年度末と比較して、259,564千円増加しております。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が331,974千円の増加、また、税金納付等による未払法人税等が73,740千円減少しております。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、1,182,785千円となり、前連結会計年度末と比較して、306,230千円増加しております。主な要因は、長期借入金の借入及び返済による純増額327,479千円であります。

⑤ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、4,026,112千円となり、前連結会計年度末と比較して18,289千円増加しております。主な要因は、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益44,982千円の計上による利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加が15,889千円及び配当による利益剰余金の減少42,641千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

「サマリー情報」に記載した平成23年2月期の連結業績予想は、平成22年9月28日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高9,252百万円、経常利益671百万円、当期純利益298百万円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,217,985	1,075,379
売掛金	165,082	145,431
商品	218,305	185,768
その他	221,810	285,990
流動資産合計	1,823,184	1,692,569
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,249,057	2,937,850
減価償却累計額	△1,672,060	△1,577,977
建物(純額)	1,576,996	1,359,873
土地	741,130	577,891
その他	966,273	891,264
減価償却累計額	△754,425	△717,117
その他(純額)	211,847	174,146
有形固定資産合計	2,529,974	2,111,910
無形固定資産		
のれん	313,844	417,277
その他	30,493	30,147
無形固定資産合計	344,337	447,424
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,499,340	1,394,730
その他	432,458	398,574
貸倒引当金	△24,615	△24,615
投資その他の資産合計	1,907,183	1,768,689
固定資産合計	4,781,495	4,328,024
資産合計	6,604,679	6,020,594

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	176,406	143,127
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	630,696	298,721
未払法人税等	93,644	167,384
その他	485,034	506,982
流動負債合計	1,395,781	1,136,216
固定負債		
長期借入金	1,055,652	728,172
その他	127,133	148,382
固定負債合計	1,182,785	876,554
負債合計	2,578,566	2,012,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160,771	1,160,716
資本剰余金	1,219,791	1,219,786
利益剰余金	1,758,022	1,755,681
自己株式	△118,821	△118,821
株主資本合計	4,019,762	4,017,361
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,350	△9,538
評価・換算差額等合計	6,350	△9,538
純資産合計	4,026,112	4,007,823
負債純資産合計	6,604,679	6,020,594

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	4,169,064	4,211,509
売上原価	1,071,826	1,120,506
売上総利益	3,097,238	3,091,002
販売費及び一般管理費	2,839,187	2,979,982
営業利益	258,051	111,020
営業外収益		
受取利息	286	163
受取配当金	30	6,983
協賛金収入	57,690	61,160
その他	9,380	12,558
営業外収益合計	67,387	80,865
営業外費用		
支払利息	11,150	11,304
貸倒損失	3,812	—
その他	399	293
営業外費用合計	15,361	11,598
経常利益	310,076	180,287
特別利益		
固定資産売却益	3,028	—
受取保険金	2,119	3,534
特別利益合計	5,147	3,534
特別損失		
固定資産除却損	4,126	29
損害賠償金	3,248	3,224
減損損失	—	26,824
前期損益修正損	1,485	—
その他	1,742	3,150
特別損失合計	10,601	33,228
税金等調整前四半期純利益	304,621	150,593
法人税、住民税及び事業税	122,028	93,515
法人税等調整額	48,520	12,095
法人税等合計	170,548	105,611
四半期純利益	134,073	44,982

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	304,621	150,593
減価償却費	188,001	170,901
減損損失	—	26,824
のれん償却額	103,433	103,433
受取利息及び受取配当金	△316	△7,146
支払利息	11,150	11,304
貸倒損失	3,812	—
受取保険金	△2,119	△3,534
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3,028	—
固定資産除却損	4,126	29
損害賠償損失	—	3,224
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,625	△19,651
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,709	△32,537
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,779	33,278
未払金の増減額 (△は減少)	△19,103	△25,937
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△29,489	△46,472
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	4,345	△10,860
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△11,695	22
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△33,456	△21,248
その他	△1,220	2,261
小計	514,506	334,486
利息及び配当金の受取額	254	6,567
利息の支払額	△12,045	△11,301
保険金の受取額	2,119	3,534
損害賠償金の支払額	—	△3,224
法人税等の支払額	△486,709	△96,681
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,125	233,380
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△59,182	△565,515
有形固定資産の売却による収入	3,065	—
無形固定資産の取得による支出	△8,899	△3,833
定期預金の払戻による収入	33,000	36,000
定期預金の預入による支出	△57,000	△60,000
敷金及び保証金の差入による支出	△72,448	△139,602
敷金及び保証金の回収による収入	19,702	11,923
短期貸付金の増減額 (△は増加)	341	△99
その他	—	△520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△141,420	△721,647

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	527,000	1,320,000
長期借入金の返済による支出	△600,576	△660,545
割賦債務の返済による支出	△8,116	—
社債の償還による支出	△115,000	△10,000
株式の発行による収入	10	60
配当金の支払額	—	△42,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	△196,682	606,872
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△319,978	118,605
現金及び現金同等物の期首残高	1,283,658	988,318
現金及び現金同等物の四半期末残高	963,679	1,106,924

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日）

飲食事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメント売上高及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日）

飲食事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメント売上高及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、記載しておりません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日）

海外売上高がないため記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日）

海外売上高がないため記載しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。